

No.

88

2023.08

BSIJ HILAU

TOPICS

- ・ 関西支部50周年記念ロゴマーク募集
- ・ 南紀はまゆうPC見学会
- ・ 東リ株式会社 工場&インテリア歴史館見学会報告
- ・ 若手トーク(西村佳吾さん、竹之下瑞穂さん、堀田 奏さん)

コストがわかれば 建築が見える！

公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部

The Building Surveyor's Institute of Japan (BSIJ)

ホームページ



Facebook



公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部

目次 Contents

2	暑中ご挨拶	公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部 広報委員会 委員長	三谷 智
3	暑中ご挨拶	大阪府公共建築室	植野 甚一
4	2023年度 関西支部定時総会報告		
5	南紀はまゆうPC見学会	株式会社フジ設計	宇治奈那衣
6・7	50周年記念ロゴマーク募集要項		
8	東り株式会社伊丹工場 工場&インテリア歴史館見学会報告	公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部 会員委員会・アッサル委員会	井関 健
9・10	若手トーク オンとオフ (西村 佳吾、竹之下 瑞穂、堀田 奏)		
11	建築コスト管理士の声	株式会社日建設計 アソシエイト	碓 雅樹
12	建築積算士の声	株式会社フジ設計	藤田 和男
13	建築積算士補試験優秀賞を受賞して	大阪府立北大阪高等職業技術専門学校	小谷 未来
14	2023年度「建築積算士」並びに「建築コスト管理士」試験のご案内		
15	2023年度「建築積算士」並びに「建築コスト管理士」資格更新のご案内		
16	「新 事業講習委員会」です！	公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部 事業講習委員会 委員長	東 泰紀
17	地域だより (和歌山県)	株式会社伸栄木材 代表取締役社長	栗栖 万博
18	地域だより (兵庫県)	神戸市建築住宅局 部長(建築課長事務取扱)	小林 賢一
19	地域だより (京都府)	京都市都市計画局公共建築部公共建築企画課 課長	高谷 和代
20	地域だより (奈良県)	株式会社中尾組 代表取締役専務	中尾 七隆
21	地域だより (滋賀県)	近江八幡市総合政策部市庁舎整備推進室 室長補佐	永岡 善明
22	第78回積友会ゴルフコンペのご報告		
23~25	2023年度 新任役員紹介		
26	2023年度 役員名簿および委員会組織		
27	賛助会員名簿		
	広告掲載		
	事務局だより・編集後記		

■ 暑中ご挨拶



公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部

広報委員会 委員長 **三谷 智**

暑中お見舞い申し上げます。

平素より当協会の活動にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年度の役員改選により、広報委員長を務めさせていただくことになりました、株式会社アイ積算の三谷と申します。まだまだ勉強中の身でありながら、大役を務めさせていただくこととなり、皆様のご指導・ご鞭撻を頂きながら、はなはだ微力ではありますが、協会の発展にご協力できればと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年5月より新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが5類に引き下げられ、徐々にではありますが、社会が平穏を取り戻しつつあります。当協会においても、少しずつ以前の活動ができるようになり、今年度の関西支部総会では、4年ぶりに会員交流懇親会が開催でき、また、対面型の講習会や現場見学会といった、会員の皆様と触れ合える機会を増やすことができるようになってまいりました。やはり、催しにおける皆様の素直な反応や、貴重なご意見を直に見聞きできることは、今後の企画・活動にとって、とても重要だと感じます。とは言えWEBを使った講習会もご好評いただいておりますので、今後は双方の利点を踏まえ

て、皆様のニーズに合った開催方式を検討していきたいと考えています。

本誌『HILAU』においては、前委員長のもと、表紙デザイン、内容共に大幅にリニューアルしました。本年度以降もそのコンセプトを踏襲し、ただの活動報告ではなく、会員の皆様同士のつながりの一端を担えるコンテンツとなれるよう、企画・運営をしていきたいと思っております。機会があり、執筆やイベント参加等をご依頼させていただいた際には、ぜひともご協力いただけますよう心からお願い申し上げます。

また、2025年に迎える支部創立50周年に向けて、『HILAU』でのご案内に加え、ホームページでは特設ページを設け、これから企画していくイベント等の情報を掲載してまいります。併せてfacebookでも発信しておりますので、アカウントをお持ちの方はぜひ「積算協会 関西」で検索いただき、フォローして下さると嬉しく思います。

最後になりますが、まだまだ暑い日が続いていることと思います。熱中症などに注意し、ご自愛下さい。

今後とも、当協会並びに『HILAU』をご愛顧下さいますようお願い申し上げます。



■ 暑中ご挨拶



大阪府公共建築室

室長 植野 甚一

暑中お見舞い申し上げます。

平素から大阪府の公共建築行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

大阪府では、府域の2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、長期的かつ世界的な視野のもと、持続可能な経済成長と地球温暖化対策の推進を図るため、取組方針等を全庁で協議し、強力で推進する体制として「おおさかカーボンニュートラル推進本部」が昨年7月に設置され、建築物のZEB化を推進するための率先取組として府有建築物のZEB化に向けた課題整理や技術的な指針を検討しているところです。

また、森林循環を通じて森林のCO₂吸収作用を強化するため、府有建築物での木材利用の推進に努めています。最近では木造（CLT造）の府営公園休憩所や木材を使用した府営住宅駐輪場が竣工するなど、徐々にではありますが木材利用にも取り組んでいます。

一方、本府では平成13年度から省エネ化等に寄与するESCO事業に取り組んでおり、府有施設だけで111施設を実施しており、加えて府内市町村施設でも事業導入が進むよう、相談対応や事業実施例の紹介など情報発信を行っています。既に23市町村で事業化されており、今後も導入を検討する市町村への支援や普及活動を実施し、市町村施設での同事業の推進に努めてまいります。

また、公共事業設計労務単価の引き上げや物価の高騰を受け、工事費の上昇が進む中、スライド条項の設定・運用するなど対応を行っております。さらに、国が平成23年以降の公共建築工事共通費積算基準の共通仮設費率及び現場管理費率の改定を今年3月に行ったことを受け、本府においても基準の改定を検討しているところです。

来年度から、労働基準法の改正により時間外労働上限規制が適用されます。大阪府においては、昨年度より施設の運営上対応が困難な場合などを除き、原則全ての工事で週休2日促進工事を採用しており、引き続き適正な工期設定を行い、建設業従事者の働き方改革に寄与していきます。さらに、今年度から、工事の総合評価落札方式等において建設キャリアアップシステムを加点対象とすることで、技能者の能力・経験等に応じた適正な処遇改善につながり、建設業の担い手確保への取組みを進めていきます。

建設業がこれまで以上に魅力ある産業となり、将来の担い手確保につなげていくために、公共建築工事の発注者としてもさらなる取組みを行ってまいりますので、会員の皆様方におかれましても、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、貴協会並びに会員の皆様方の今後益々のご発展とご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

2023年度 関西支部定時総会報告

支部定時総会にて会員の皆様のご承認を頂き2023・2024年度も支部長として活動させていただくことになりました。

2期目の今期、ようやくコロナ感染者も減少の兆しが見え始め、支部活動領域もコロナ前の状況に戻せそうです。前期の2年間コロナ禍の活動で改めて感じたことがあります。2022年9月に開催した会員交流懇親会や昨年度数回開催した現場見学会、工場見学会において会員の皆様がマスク越しではあるものの対面で会話をしている光景を目にし、今まで当たり前であったこれらの活動がとても有意義な場であることを気づかされました。今期はこのような場を少しで多く創出できるように取り組んでいきます。またコロナ禍で得たものもあります。講習会などはWebの方が参加しやすい等の声を多くいただいており、今後も講習会はWebでの開催が基本となります。3年間のコロナ禍の経験を活かした以下のような活動をしていきます。

1「支部設立50周年に向けた活動を本格化」

大阪関西万博が開催される2025年、関西支部は設立50周年を迎えます。2年後に備え今年度はその準備に取り掛かります。様々なイベントを企画する上で、会員の皆様のご意見を反映させ一緒に50周年を祝えるようにしたいと思います。



2「BIM・環境（ZEB・ZEH、木構造、カーボンニュートラル）に関する活動」

今年度から国土交通省が本格的に取り組むBIM加速化事業におけるBIM連携積算への対応、また2050年カーボンニュートラル実現に向けた建設業界の取り組みに対してスコープ3におけるCO₂排出量計算への対応等、社会の変化に対応できる積算技術者の創出を講習会等通じて支援していきます。

3「会員と支部の距離を近づける仕掛けづくり」

この3年間、対面での活動ができず会員の皆様との間に生まれた距離感を近づけるように現場見学会、工場見学会などを始め、会員の皆様と直接会話できる活動を積極的に開催していきます。

4「学生に対して「積算」認知度向上のための活動」

認定校の学生に対して、実際の積算の仕事を伝える活動を行い、積算の魅力を肌で感じてもらい、将来の積算技術者の創出に寄与していきます。

以上の活動を通じて関西支部が会員の皆様やこれからの建築積算業界を担う方々にとって有益な団体となるように役員一同頑張っていきますので、どうかご協力ご支援の程、よろしくお願いします。

南紀はまゆう PC 見学会 [2023.2.24]



株式会社フジ設計
宇治 奈那衣

今回、日本建築積算協会関西支部の計らいで、南紀・はまゆう統合支援学校(仮称)建設工事の現地見学会に参加させていただきました。

まず、現場事務所の会議室で、PCや設計概要・現場工事について講演がありました。今までPCについて触れる機会があまりなく、知識も浅かったため、PCの製造から施工に関することまで詳しい内容を聞くことができ、とても興味深かったです。現場ではPCを吊るために大型のクレーンが使われています。当工事現場では北棟エリアと南棟エリアで施工者が分かれているため、現場に1つしかない大型のクレーンを使用するにあたって、PC工事を行う時期を調整する必要があるとのことでした。工期が限られている中、工事の進捗などを加味して工程を組むことはとても難しいことだと感じました。

講演後、南棟エリアの現場見学をさせていただきました。あいにく雨が降っていたため、傘をさしながらの見学となりましたが、大型のクレーンでPCを吊るしている現場を間近で見ると、とても壮大な光景でした。既に2階の高さまで工事が進んでおり、PCだからこそ天候に左右されにくく、大幅な工期延長もないのだと感じました。PCを所定の場所に下ろす際は、ずれがないように職人さんたちが声を掛け合いながら工事を進めていたので、繊細な工事という印象を受けました。

大規模な工事現場でないとPCに触れる機会がないため、とても貴重な経験となりました。今回の見学会を通して、PCに加えて、その他の部材についてもより知識を深めていきたいです。



公益社団法人
日本建築積算協会 関西支部

50周年記念ロゴマーク募集要項

公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部は2025年に「50周年」を迎えます。この記念事業の一つとして、広報活動に使用するロゴマークのデザインを募集します。採用されたロゴマークは、当協会の50周年を盛り上げるため、広報活動等に広く活用いたします。

- 応募期間** 2023年10月31日(火) 作品提出・応募締め切り【必着】
- 賞** 最優秀作品(1点) 賞金 100,000円 優秀賞作品(2点) 賞金 10,000円
- 審査及び発表** 厳正な審査により最優秀作品1点(採用作品)を選考します。発表は、2024年1月初旬を目途に関西支部ホームページ・関西支部広報誌「HILAU」に掲載するほか、採用者本人に直接通知します。
- 応募資格** 日本建築積算協会の会員およびその家族(配偶者、一親等以内)
日本建築積算協会関西支部の認定校に在籍中の生徒および学生
日本建築積算協会会員が所属する会社の社員
- 応募条件**
 - *一人1点の応募とし、「BSIJ KANSAI」もしくは「積算協会関西支部」の文字を必ず含み、関西支部が50周年であることがわかるデザインとすること。
 - *応募作品は、公序良俗その他法令の定め反するもの、誹謗中傷を含むもの、第三者の著作権、商標権、その他法律上保護される一切の権利を侵害する恐れのない自作の未発表作品(SNS含む)に限ります。また、採用決定後であっても、これらの条件に違反していたことが判明した場合、採用は無効となります。
 - *AIソフトによって自動生成した作品は提出不可とします。
 - *原則として平面で、応募用紙で提出可能なものとしてください。色彩は自由ですが、白黒印刷で使用することもあります。
 - *採用された作品の著作権その他一切の権利は、公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部に帰属するものとします。なお、使用しやすいように、ロゴマークデザイン、名前、色彩など加工・修正する場合があります。
 - *応募作品は、お返しできません。
- 提出物**
 - 応募用紙(ホームページ内、50周年記念事業 [QRからアクセス→](#) 特設ページにてダウンロード可能)
 - 作品
 - *jpeg/gif/png/pdfファイルのいずれかのデータ形式で提出すること
 - *手書きの作品を応募する場合もスキャナー等で取り込み、データで提出すること
- 応募方法**
 - メール
件名を「積算協会 関西支部50周年ロゴマーク応募」として、必要事項を入力した応募用紙を(kansai@bsij.or.jp)まで送付してください。※作品容量10MBまで
- お問い合わせ** 質疑がある場合は、質疑内容を簡潔に記載し、電子メールにより提出して下さい。また、電子メール以外の問い合わせについては一切受け付けません。
質疑内容については、募集要項、記載した作成及び提出に関する事項に限るものとし、評価及び審査に関する質疑及び提案内容については一切受け付けません。



① 質疑提出期限

2023年9月1日(金) 午後5時まで

② 送信先アドレス

電子メール：kansai@bsij.or.jp

なお、件名は「質疑書（50周年ロゴ募集）」とすること。

③ 質疑書の回答

質問者への個別回答（電子メール）とする。ただし、公開が必要と判断した質疑回答は、ホームページに掲載する。

回答は、2023年9月8日(金) までに随時行う。（ただし、質疑から回答までに時間を要する場合があるため、スケジュールに余裕を持って提出して下さい）

提出先

公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部

TEL. 06-6253-1523

E-mail：kansai@bsij.or.jp HP：bsij-kansai.jp

公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部「50周年記念」ロゴマーク応募用紙

フリガナ		会員番号	
応募者氏名		フリガナ	
		会員氏名	
会社名又は学校名		年齢	性別 (男・女)
住所	〒		
		(電話番号)	(メールアドレス)
応募規約	<input type="checkbox"/> 応募規約に同意して応募します。		

<作品>※「BSIJ KANSAI」もしくは「積算協会関西支部」の文字を必ず含み、関西支部が50周年であることがわかるデザインとすること。

サンプル

<作品の説明（作成意図、解説）200字程度>

【応募方法】
 本応募用紙に必要事項を記入の上、メールで提出してください。(10MB以内)
 ※メールの件名には「積算協会 関西支部 50周年ロゴマーク応募」としてお送りください。
 ※電子データの提出ファイル形式は、jpeg/gif/png/pdf ファイルとして下さい。
 ※不明な点等がある場合は、下記までお問い合わせください。(土日祝を除く平日9:00~17:00)

【応募及び問い合わせ先】
 公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部
 〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-3-10 長堀堂ビル8階
 TEL. 06-6253-1523
 E-mail: kansai@bsij.or.jp

東リ株式会社伊丹工場

工場&インテリア歴史館見学会報告

公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部
会員委員会・アッサル委員会 井関 健



5月29日（月）アッサル委員会と会員委員会の合同で、工場見学会を行いました。

兵庫県伊丹市にあります、「東リ株式会社伊丹工場」と「伊丹工場内インテリア歴史館」で、見学会を行いました。

工場見学会でいつも感じるのは、知っているようで知らない建築材料や製品の面白さです。

鉄骨にしても、硝子にしても建具にしても普段見慣れていて、当たり前のように生活のなかにあるので、それがどのように製造されるかについてあまり興味をもたずとも、仕事上不自由がない場合が多くあります。多くありますというのは、硝子や、建具については、最大寸法というのがあって、硝子であれば製造できないとか、建具であれば防火認定が取れていないということについては、値入を行った経験のある方は内訳作成される中で、注意されたことがあるかもしれないと考えるからです。

いずれにしても、どのように製造されるかということについては、現在の値入では見積りによる場合等も多く、あまり注意しないで見過ごしているものではないかと思います。

今回の工場見学会では、コンポジションタイル、CFシート、タイルカーペットの製造過程を見学させて頂きました。コンポジションタイルでは硬化前の工程、CFシートでは熱転写により模様を転写していく過程、タイルカーペットでは、いかにして模様を具現化していくかについて学びました。

詳細の化学変化までは分からないものの、なるほどこうして床材がつくられるのか、というのが率直な感想です。目の前でつくられる過程をみるのは、機械が大きいことも手伝って迫力のあるものです。

見学をともにされた方も、床材の製造に理解が深まったことだと思います。

製造過程で発生する端材や規格外品を廃棄せずに再度、原料として還元されているとのことでした。

無駄を減らし、材料を大切に使用されています。

ものづくりのうえで参考にさせていただきたい姿勢です。

工場見学に続いて（別班では、先にまわられました）インテリア歴史館の見学をさせていただきました。

由多加織を製造し輸出していた会社が後に、東洋リノリウム株式会社になるのですが、その過程を何うとどの様なところにチャンスがあるかわからない時代の面白さと、チャンスに挑戦された創業者の熱意が現代まで続く会社の原動力になっているのかと感じます。

建物については、現在の商船三井ビルディング（神戸市中央区）や綿業会館（大阪市中央区）を手掛けた渡辺節の初期の作品であることも紹介され、その時代の交流関係が分かり面白く思いました。

最後になりましたが、今回お世話になりました東リ株式会社伊丹工場の皆様にお礼申し上げます。



若手 トーク

オンとオフ



清水建設株式会社
関西支店 見積部 第3グループ

西村 佳吾

清水建設株式会社の西村佳吾です。

若手とは呼べないかもしれませんが、建築現場管理を10年、見積業務で6年目になりました。

見積の仕事をするようになり6年になりますが、現在は概算・精算業務を主に担当しております。

見積業務を始めた頃は、現場での業務とは違い手探りで行うこともありましたが、業務の中でたくさん経験のすることで今は自信を持って見積業務を行っています。

プライベートでは、3月に第2子が誕生しパタニティ休暇を取得させていただきました。

現在は、第1子を保育園に送迎したりと不慣れなこともあります。在宅勤務もさせていただきながらフレキシブルに業務をしています。

休みの日には、子供の英会話教室に行き一緒に英語の勉強したり、せっかく関西に住んでいるのでチャンスがあればUSJに遊びに行ったりして休みを満喫しています。

今後も、オンとオフのバランスを取りながら日々研鑽しコストマネジメント能力を高めていきたいと思っています。



若手トーク オンとオフ



株式会社アイ積算
竹之下 瑞穂

新卒で入社後すぐ建具担当に配属され、今年で2年目を迎えました。

入社当時はとにかく業務をただこなすだけで一杯一杯で、正しく理解することができませんでしたが、最近は少しずつではありますが理解できることも増えてきて、大変さよりも楽しさを感じるようになりました。

今は、この4月に入社した後輩の指導をしています。自分で思っていた以上の知識不足、実力不足を実感し、まだまだ吸収しなければいけないことがたくさんあると感じています。

覚えることが山ほどあり、疲れてしまうことも多いですが、そういった時には音楽を聴いてリフレッシュするようにしています。通勤時や夜寝る時に音楽を聴いて気分をリセットすることで疲れを翌日に持ち越さないように心掛けています。

これからも、適度にリフレッシュしつつ頑張っていきたいと思います。



株式会社綜企画設計
積算事業部
堀田 奏

株式会社綜企画設計に入社して4年目になります。

大学・前職共に建築とは関係ない分野でした。入社当初は建築知識0でしたが、業務を通じて知識を身に付けていくと、普段何気なく見ていた建物でも「構造や仕上は何だろう」と興味を持って観るようになりました。

現在では、構造・仕上の拾い、内訳書作成、値入までを1人で担当することが出来るようになりました。幅広く知識が必要とされる業界ですので、多種多様な建物の積算を通じてより成長できるよう日々精進したいと思います。

プライベートでは温泉が好きで、休日のたびにスーパー銭湯に通っています。仕事を忘れてゆっくと過ごして日々の疲れを癒しています。

普段は家の近くの銭湯に行っていますが、コロナ禍による行動制限も解除されたので国内の温泉地巡りもしてみたいと思います。

建築コスト管理士の声

株式会社日建設計
アソシエイト

碓 雅樹

今年建築コスト管理士の資格を「再」取得いたしました。

建築コスト管理士資格の更新には継続的職能教育制度（CPD）に参加し、資格の有効期間5年間の間に一定数以上の単位を履修しなければなりません。この制度をよくよく理解しないまま数年たち、協会からCPD単位取得状況のご案内をいただいた時には、時すでに遅し。あえなく再受験となりました。

前号のHILAU（ひらう）でも注意公告が掲載されておりましたが、計画的な取得が重要です。皆様本当にご注意ください。（あの注意公告を私がデザインしたというのは本当にひどい冗談です。）

さて、建築コスト管理士は、建築の企画・設計・施工・維持・保全、廃棄に至るまで、建築のライフサイクルの全過程において、コストマネジメント業務に関する高度な専門知識と技術を有する専門家であり、その活躍の場は、積算事務所、設計事務所、コンサルタント会社、ゼネコン、デベロッパー、金融機関、官公庁など多岐にわたります。コストマネジメントの重要性が広く認識されてから久しいですが、建設費の高騰や、ライフサイクルコスト、省エネ、カーボンニュートラル等建築物を建設するうえで求められる社会的責任の増大によって、建築コスト管理士には非常に多くの役割が期待されており、その需要は今後さらに増加していくと考えられます。

にもかかわらず、建築コスト管理士は業界内でも影が薄い存在に感じます。その理由は、資格自体の知名度や資格取得者数、その職能が幅広く多岐にわたるがゆえにその役割がわかりづらいこと、建築積算士の資格があれば十分で建築コスト管理士資格が必要な仕事が少ないこと等、様々あると思いますが、上記のような非常に多くを期待されている状況の中、もっとその価値を高めていく必要があると思います。

積算協会関西支部は2025年に設立50周年を迎えるとのことで、積算協会として社会に情報発信する機会も増えていくと思いますが、私個人としましても、建築コスト管理士として様々なプロジェクトに貢献していくことで、建築コスト管理士の価値を少しでも高めることができるよう、微力ながら尽力していく所存です。

建築積算士の声



株式会社フジ設計

藤田 和男

私は意匠設計事務所で勤務しており、普段は民間・公共問わず様々な用途の建物を設計しています。また、働き出して15年になりますが、W・S・RC造それぞれまんべんなく設計に携わってきました。

ここで少し脱線しますが、私は引っ越しが好きで、数えてみると今まで17回引っ越してきました。なぜこんなにも転々としてきたのか？ 飽きっぽい性格というのがありますが、やっぱり建物が好き・街が好きというのが根底にある気がします。住んでみたい街や新しい景色・環境に飛び込みたい欲求があり、次はあっち・こっちと思いを馳せています。

さて、仕事の話に戻ります。私が建築積算士資格に挑戦した理由は、設計の仕事をする中で、大きい物件は積算事務所をお願いしていますが、小さな物件は自分で積算しています。小さな物件でも積算をしていると知識が増えてきて、「よし、建築積算士にチャレンジしよう！」という気持ちになったからです。腕試しの精神です。

しかし、実をいいますと12年程前に一度建築積算士を受験しており見事に滑りました。その後、資格の勉強は一級建築士にシフトしたので、建築積算士の勉強は長く冬眠状態が続いていましたが、いつかは取りたいと思っていた気持ちが昨年最高潮を迎え、受験し、取得することに成功しました。

普段は設計の立場から考える脳が大きくなっていますが、今回の積算士の勉強をする中で、別の角度から考える脳も少し大きくなり、建築の仕事俯瞰して考える・視野を拡げて考える力がUPしたように思います。

最後になりますが、私は眼の病気により視覚障害があり、普通の人と比べると「見る」という行為・作業に時間がかかります。そのため、今回は受験特別措置により受験しました。障害があったとしても諦めたくない。もし私と同じようにハンディキャップを持った方が受験を躊躇しているなら、是非チャレンジして欲しいと思います。

建築積算士補試験優秀賞を受賞して大阪府立北大阪高等
職業技術専門校**小谷 未来**

この度は建築積算士補試験優秀賞を頂き、誠に光栄に思います。

私は北大阪高等職業技術専門校を卒業し、現在は設計の仕事をしていますが、建築積算の知識が日々の業務に活かされていると実感しています。

建築積算の勉強を始めたきっかけは技専校の単位取得の為でしたが、授業を通して、建築積算は建物の工事費用を詳細に計算し、予算編成や見積もり作成に活用することだけではなく、建築行為全般に重要な役割を果たすことを学びました。最初は、建築積算に関連する基礎知識を習得することから始めました。建築材料の種類や特性、建築工法、施工プロセスなど、広範な知識が求められることに気づきました。また、建築積算の手法や計算方法、関連する法規や基準についても学びました。これらの知識は、建築に対する理解を深め、実践的な能力を養う上で非常に役立ちました。

私は建築積算士補試験に向けて、「大量に覚えて忘れない」に特化した学習法を実践しました。学習内容を細かくセクション区切りし、毎日少しずつ勉強しました。そして「忘れるタイミング」をなくすために、前日覚えた部分を翌日に復習して思い出す、そして記憶が定着してきたら徐々に復習する間隔を長くしていく。最終的には月に一回思い出せば忘れなくなる状態まで記憶に定着させました。「思い出す」と、思い出す周期を「計画表で管理する」ことを実践しました。私は通学に2時間ほどかかっていたため、勉強は電車の中だけ、毎日必ず集中してやる、をモットーに2か月ほど続けました。その結果、建築積算士補試験で優秀賞を受賞することができました。その瞬間は大きな喜びと達成感に包まれました。一方で、受賞したからといって満足することなく、さらなる成長を追求する姿勢を持ち続けなければいけないと感じました。

二級建築士試験でも、同じ勉強方法を実践し学科試験をパスすることができました。これも建築積算士補試験で学んだベースがあったからこそその結果だと感じています。

最後に、建築積算士補試験で優秀賞を受賞することができたのは、同じ夢を追いかけ切磋琢磨し合ったクラスメイト、熱くご指導してくださった先生方、そして私を支えてくれた家族のおかげです。心から感謝申し上げます。

2023年度「建築積算士」並びに「建築コスト管理士」試験のご案内

認定事業委員会

2023年度「建築積算士」並びに「建築コスト管理士」試験について、次の通りお知らせ致します。

2023年度「建築積算士」試験のご案内

制度の定義	建築生産過程における工事費の算定、並びにこれに付帯する業務に関し、高度な専門知識および技術を有する専門家。
資格取得のメリット	PUBDIS (公共建築設計者情報システム) 登録資格として、公共工事における建設コンサルタント等業務参加資格に活用できます。建築積算のスペシャリストとして認められている資格です。
■申込期間	【一次試験から受験】2023年 6月 1日(木)～ 8月31日(木) 【二次試験から受験】2023年10月 2日(月)～12月 7日(木)
■試験日	【一次(学科)試験】2023年10月22日(日) 【二次(実技)試験】2024年 1月28日(日)
■試験会場	大阪会場は一次試験が「大阪府建築健保会館」で実施の予定です。 なお二次試験の会場は未定です。 ※都合により会場を変更する場合がございます。
■受験資格	次のいずれかに該当する方は、一次試験が免除になります。 ①建築コスト管理士、建築積算士補 ②一級建築士、二級建築士、木造建築士 ③一級・二級建築施工管理技士 ④積算協会の積算学校卒業生 ⑤過去の一次試験合格者
■受験料	27,500円(消費税込) ※建築積算士補の方、学生会員の方は受験料が半額(13,750円)になります。

2023年度「建築コスト管理士」試験のご案内

制度の定義	企画・構想から維持・保全、廃棄に至るライフサイクル全般に渡って、コストマネジメント業務に関する高度な専門知識および技術を有する専門家。
資格取得のメリット	PUBDIS (公共建築設計者情報システム) 登録資格として、プロポーザル等に活用できます。英国王立チャータード・サバイヤーズ協会(RICS)の国際的QS称号取得が可能な資格です。
■申込期間	2023年6月1日(木)～9月7日(木) 協会ホームページに掲載する申込フォームに入力し、送信してください。
■試験日	2023年10月22日(日) / 学科試験 12:50～15:20 (2時間30分) / 短文記述試験 15:40～17:40 (2時間)
■試験会場	大阪会場は「大阪府建築健保会館」で実施の予定です。 ※都合により会場を変更する場合がございます。
■受験資格	1) 建築積算士資格を取得後、更新登録を1回以上行った方。 2) 建築関連業務を5年以上経験した方。 3) 一級建築士に合格し登録した方。
■受験料	29,700円(消費税込)
■特記事項	過去2カ年度学科試験に合格され、短文試験のみの受験の場合の手数料は、16,500円(消費税込)となります。

2023年度「建築積算士」並びに「建築コスト管理士」資格更新のご案内

認定事業委員会

2023年度で登録期限が終了する「建築積算士」並びに「建築コスト管理士」の皆様にご案内致します。

2023年度「建築積算士」資格更新のご案内

建築積算士の皆様、平素より当協会にご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、3年ごとに行われる資格更新のご案内です。

以下の内容をご確認いただき、手続きを行っていただきますようお願い申し上げます。

1. 2023年度の更新講習および更新の登録（再登録）の対象者は、以下のとおりです。
 - (1) 2020年度に更新講習を修了した方（登録有効期限：2024年3月31日）
 - (2) 2020年度は都合により更新講習を修了せず、2021年度に更新講習を修了した方（登録有効期限：2024年3月31日）
 - (3) 2020年度建築積算士試験に合格して登録を受け、建築積算士となった方（登録有効期限：2024年3月31日）
 - (4) 昨年度更新講習の対象者で、2022年度は都合により更新講習を修了しなかった方（登録有効期限：2023年3月31日）
2. 更新講習は以下の方法で行います。
 - (1) 【eラーニング受講】
基本的には、パソコンやスマートフォンあるいはタブレットを利用して、インターネット上で講習を受ける「eラーニング」で行います。
 - (2) 【DVD視聴受講】
インターネットを利用する環境にない方には、DVD（電子記憶媒体）を送付いたします。テレビとDVDプレイヤーにより視聴していただけます。
 - (3) 【どちらの手段もない】
パソコンやスマートフォンあるいはタブレットをお持ちでない方、インターネットを利用する環境にない方、テレビとDVDプレイヤーをお持ちでない方については、受講する手段を別に提供いたします。

2023年度「建築コスト管理士」資格更新のご案内

2023年度で登録期限が終了する「建築コスト管理士」の皆様は、2024年3月末までの5年間に、80単位以上のCPD単位取得が必要となります。

また、以下(1)～(3)のいずれかに該当する方は、履修単位の緩和の申請を行うことができます。

- (1) 傷病、産休などやむを得ない場合については、5年間で20単位を限度として緩和の申請を行うことができる。
- (2) 資格更新年度の3月末において、建築積算士（旧名称建築積算資格者）取得後20年を超える、建築及び関連業務の実務経験を有するものは、5年間で30単位の緩和の申請を行うことができる。
- (3) 資格更新年度の3月末において、一級建築士取得後25年を超える、建築及び関連業務の経験を有するものは、5年間で30単位の緩和の申請を行うことができる。

履修プログラムは、「参加学習型」「情報提供型」「技術協力型」「自己学習型」に分けられます。詳しくは積算協会本部ホームページをご確認ください。

CPDは日々の積み重ねが重要です。

まずはご自身の取得単位数の確認から始めていただければと存じます。

積算協会本部 CPD の
推進ページ積算協会本部 CPD システムの
分類と単位

「新 事業講習委員会」です!

公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部

事業講習委員会 委員長 東 泰紀

事業講習委員会では、今年度から新メンバーを迎え、支部内委員会最大人数となる総勢12名で始動しています。宜しくお願いいたします。

今年度5月と6月に「建築積算基礎講座」と題しまして、新入社員の方や、あらたに積算・見積関連部署に着任された方、直接積算は行わないが積算を勉強してみたい方など、建築積算初級者向けの講習会を開催しました。

躯体2日間コース、仕上2日間コース、両方の4日間コースがあり、総勢31名の方にお申込み・ご参加をいただきました。

毎回共に皆さん真剣に受講されておられ、集合型での開催でしたので、質問や回答についてもひとつの教材を目の前にして行えるので、講師・受講者どちらにとってもスムーズな意思の疎通が行えていたように思います。

近年では、ZOOMを用いたWeb講習会も主流ですが、今年度からそのWeb講習会の新シリーズとして“夕方1時間で知識アップ”をキャッチコピーとした〈1Hour講座〉を始めます。

関西支部で開催する講習会の場合、3時間もしくは終日など、ある程度長時間になるものが多いのですが、このシリーズでは1本1時間を目安にしてプログラムを構成し、気軽にそして気楽にご参加いただける講習会にしていきたいと思います。この記事が出るころには第1回開催が近づいている予定です。ご興味が御座いましたらホームページでご確認いただけますと幸いです。

各年度内で2～3回の開催を見込んでおりますので、また機会ありましたらぜひご参加いただけますと幸いです。

全国の積算協会支部の中でも、関西支部が企画開催する講習会は、「おもしろい、ためになる」と一定の評価をいただいていますので、それを裏切らないように引き続き委員会メンバー全員で企画・運営を尽力いたします。

地域だより



和歌山県

株式会社伸栄木材

代表取締役社長 **栗栖 万博**

和歌山県は、全土の77%を森林が占める「木の国」です。緑織りなす紀州の山々は、古来、美しい景観を創りだすとともに地域の伝統文化を育んできました。

弊社は、平安時代から江戸時代にかけて「蟻の熊野詣」と称されるほど多くの参詣者が訪れた熊野の神域、その入り口に位置する「稲葉根王子」の隣地に「伸栄木材」を創業、製材業一筋に歩んでまいりました。

製材業を営む弊社は、緑豊かな恵まれた環境の中、地域性を生かした良質の紀州材（杉・桧）を専門に製材し、主に地域の工務店様や建材店の方々に（柱・桁・鴨居・壁・床板・羽柄材など）木造建築全般の材料をご提供いたしております。

とくに紀州材（杉・桧）の長尺ものを製材する設備・技術を有し、また杉の構造材の人工乾燥機をはじめ、鴨居や壁板・床板の加工板など、木の本来のよさが見直され、地元の業者様はもとより、京都・大阪・東京・九州方面の業者様にも需要が多く、大好評をいただいております。

緑濃い和歌山の森で育った「紀州の木」。高樹齢の杉・桧を生かした高品質の建築材をお届けしています。

弊社の仕事の流れは

原木の搬入→皮剥ぎ工程→皮剥ぎ丸太→製材機台車→製材機 角材ツインバンド生産システム→製材機 ギャングプレナー→乾燥機→プレナ

ー・モルダーサンダー加工→検品→出荷となります。

弊社の場合（紀州材）構造材コスト係数、柱105角(杉) 長さ3mを1.0としたときの事例です。

3m 120角(杉)1.30 105角(桧)1.16
120角(桧)1.51

6m 105角(杉)2.52 120角(杉)3.29
105角(桧)4.39

120角(桧)4.39（※桧材の105角と120角が同じ理由は常時120角を用意しており、それを105角にするのでコストは同じとなります。）

梁材（杉）3m

120×150(1.55) 120×180(1.85)

120×210(2.16) 120×240(2.47)

120×270(3.0) 120×300(3.77)

120×330(4.53) 120×360(5.35)

梁材（杉）6m

120×150(4.46) 120×180(5.56)

120×210(6.48) 120×240(7.41)

120×270(8.65) 120×300(10.64)

120×330(12.45) 120×360(16.06)

以上の係数になります。

この場をお借りして、貴協会の益々のご繁栄と、会員・賛助会員の皆様方のご健康ご繁栄をお祈り申し上げます。



地域委員会

和歌山県地域委員 **藤田 貴司**

和歌山県地域委員会の藤田貴司です。

積算協会へは、積算士の資格を取得した時に入会し、日常業務は意匠設計・監理業務が中心です。



地域だより



兵庫県

神戸市建築住宅局
部長(建築課長事務取扱) 小林 賢一

暑中お見舞い申し上げます。

日本建築積算協会関西支部の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、神戸市の建築住宅行政に対し、変わらぬご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、現在の建築業界は新型コロナやロシアのウクライナ侵攻、急激な円安等、様々な要因のため建築資材物価指数や建築費指数は上昇を続けています。神戸市においても、これまでは順調に落札されていた大規模な新築工事で入札不調が発生しました。公共工事では予定価格の算出後、入札を行うまでに数か月を要するため、この間の物価上昇が入札不調の原因の一つと考えており、積算業務やコスト管理がかつてないほど難しくなっていると感じています。

また、カーボンニュートラルの取り組みとして建築物への木材利用の拡大や、令和6(2024)年4月からの建設業界への時間外労働上限規制の適用に伴う現場の週休二日の定着など、業界を取り巻く状況は大きく変化していますが、これらは建設コストに反映されるため、積算業務を担っている皆様方には、これまで以上に負担をかけることとなりますが、引き続きご支援ご協力をお願いします。

そのような中、神戸市では令和3(2021)年度から、スタートアップ企業と行政職員が協働する

課題解決プロジェクトの“Urban Innovation Japan”において『積算チェック作業を効率化するツール』の開発に取り組み、今春から一部の部署で「積算チェックアプリ」の実証実験を開始しました。

近年神戸市では、積算の誤りによる入札中止や契約後の契約解除が発生しており、その背景には工事件数の増加に加え、経験が少ない若手職員の比率が高くなり、上司や照査職員の負担が大きくなったことが関係していると考えています。このアプリはAIを使用するのではなく、ベテラン職員の積算チェック時のノウハウを検索条件式に置き換え、アプリが読み込んだエクセル形式の内訳明細書から条件式に合致した部位を探し出して警告を発するという仕組みであり、経験の少ない若手職員のチェック漏れを減らし、照査業務の省力化を図るものです。

残念ながら、実証実験開始直後に国土交通省が積算基準の改定を発表した為、アプリの大幅な見直しが必要となりましたが、実証実験で効果は体感されましたので、今後予定している設備積算への対応などを行い、職員の積算チェック作業の省力化・効率化を図るとともに、積算業務全体の精度の向上に役立てたいと考えています。

最後に、皆様方の益々のご活躍、ご健勝を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

地域委員会

兵庫県地域委員 山田 正人

兵庫県地域委員の山田です。

建設業界は依然として建築費が上昇しています。

神戸市でも積算の誤りによる入札中止や契約後の解除が発生されているとの事。その事を解消するため「積算チェック作業を効率化するツール」の開発に取り組まれている模様です。

当協会の建築コスト管理士等が積算業務の質向上に協力したいと思います。



地域だより



京 都 府

京都市都市計画局公共建築部公共建築企画課

課長 高谷 和代

日本建築積算協会関西支部の皆さま、暑中お見舞い申し上げます。

また、平素より京都市公共建築行政に対しご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この5月には新型コロナが5類感染症に移行し、ようやく社会全体がコロナ禍からの脱却に向けて動き出しているように感じる昨今、建設業界においては、コロナ禍の影響やロシア・ウクライナ情勢による原油価格の高騰、原材料の高騰等により建築資材の価格が急騰するとともに一部の資材や設備機器の納期が通常より長くなるなど、昨年続き、厳しい状況にはありますが、皆さまのご協力のもと、整備事業については着実に進めさせていただいております。

さて、現在の京都市の整備事業・施策をご紹介します。文化庁が京都に全面的に移転してきた本年、「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーン創生を目指して整備を進めてきた京都市立芸術大学の移転整備工事がいよいよ8月に完了し、10月に開校を迎えます（京都市立美術工芸高等学校は4月に開校）。1つの学校の移転としてだけではなく、文化を基軸としたまちづくりに魂を入れていく具体的な展開が期待されています。また、小栗栖地域の京都市立栄桜小中学校、西陵地域の京都市立洛西陵明小中学校の整備事業に

おいては、より木の温かみを感じながら学習できるよう校舎の一部を木造化、内装木質化し、市内産木材の構造部材を材工分離発注により調達する手法を採用。本格的に整備工事に着手しています。さらに、木材の更なる利用促進施策として市内産木材の循環利用により森林の機能を最大限に発揮させ脱炭素社会やSDGsの実現等に寄与するとともに、「木の文化都市」として人や投資を呼びこみ活力あるまちづくりを進めるため、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動「ウッド・チェンジ」を推進しています。令和3年改正の「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律（通称：都市（まち）の木造化推進法）」を受け、京都市においても、庁舎等における木材の更なる率先利用に加えて、民間建築物における木材利用を促進し、広くウッド・チェンジの機運を醸成するため、令和5年4月に、「京都市公共建築物等における木材利用基本方針」を「京都市建築物等における木材利用基本方針」として改定しました。

今後とも、貴協会員の皆様のご支援、ご協力をいただき、より良い施設整備を進めてまいりたいと考えています。

最後に、皆様の益々のご活躍、ご健勝を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

地域委員会

京都府地域委員 道家 武史

地域だよりを多くの方に読んでいただき、京都府、京都市の地域への取り組み、また積算協会の取り組みを一人でも多くの方に知っていただければと思っています。



地域だより



奈良県

株式会社中尾組

代表取締役専務 中尾 七隆

弊社は、奈良県桜井市に本社を置き、今年で創業108年となる建設会社です。特色は、中大規模木造建築から寺社や地域木造住宅まで、県産材や集成材を使った木造建築の実績が多くあり、製材業の方々とは日頃から親しい関係で営んでいます。

昨今は、木造の受注力を高めるため、社内研修以外に奈良県奈良の木ブランド課主催の「木に関する研修やワークショップ」に参加し、木造技術力向上に努めています。また、公共建築の木造化が進むよう建築士会でも、RC造と木造とのコスト比較など、木材関係団体と県奈良の木ブランド課と共に検討や学習なども重ねています。

その研修の中から判明した課題は、せっかく強度の高い県産材、かつJAS材であっても無等級材で構造計算されていることがあり、強度に合った部材断面でないため過剰設計となり、材の良さがコストに活かされていないことでした。

また、最近受注した公共木造物件では、欧州集成材が指定されており、材の検討と見積をした結果、フィンランドのホワイトパインが良材で県産材に比べても安価で安定供給できることが判かりました。この結果から、すべての部材を県産材で指定するのではなく、コスト面や納期面で厳しい際は、構造材に欧州材も採用し、造作材は県産材を使うなど臨機応変・適材適所に使えば、コストを理由に不落になるケースも少なくなり、結局、県産材の製材量の増加につながると思いました。

その他、多くの設計図・見積項目をみて思うことは、構造材も造作材も、具体的に、どのような材を、どのように工夫し、どのように使うのか？まで、表記することが大切だと思っています。

例えば、乾燥方法、背割の有無と位置、定尺とコストを意識したロスが出ない張り方、クレームの出にくい実加工の種類、家具や建具の色に合った樹種の選別、木の性能を失わない厚み(15mm以上)、人の肌さわりに合う樹種の選別、あまり使われない和室材をはぎ板などで上手く使う提案(写真参照)など、設計者だけでなく、製材者・大工・現場監督のノウハウを是非計画段階で取り入れていたければと思います。

最後に地域の木造は、自然・環境・歴史・景観・人材育成・技術伝承などSDGsに大きく寄与します。また、弊社を例に木造や環境に着目することで優秀な新卒者雇用にもつながっています。このように、これからも産官学民みんなで木造・木質化推進に取り組んでいきたいと思っています。



桜井市新庁舎ホール(令和3年)

地域委員会

奈良県地域委員 中本 明

最近、建築材料単価の高騰、職人不足のせいか、工事費が予算に合わず、設計見直し業務が増えてきています。5月に奈良県知事が山下真知事となり、奈良県営繕課の最新情報をお届けしようと考えましたが、着任早々であることから、次回としました。そこで奈良県内の施工者の中で、日頃熱心に勉強されています中尾七隆様に執筆を依頼し、地域木材・単価・職人等多方面の視点から、木の使い方について、日頃の思いを執筆頂きました。非住宅建築を木構造で作りたいものです。



地域だより



滋賀県

近江八幡市総合政策部市庁舎整備推進室

室長補佐 永岡 善明

盛夏の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は近江八幡市建築行政に対し、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、建築業界を取り巻く環境は新型コロナウイルス感染症の影響による資材納期の遅延や物価高騰、更には、ウクライナ情勢による燃料価格の高騰が続き、建設価格は高止まりの状況が続いています。一定コロナ禍の終息による平時が戻ってきているように思われますが、建築業界では、まだまだ平時が戻ってきていないように感じております。

当市におきましては、現在、新庁舎建設に向けて入札手続き中ではありますが、ここに至るまでは、紆余曲折の経過を辿ってきております。現在の新庁舎計画は、市長交替による政策変更により、以前にあった基本計画を見直し、平成30年度に再度策定しました。本計画を基に、基本設計を進め、昨年7月に基本設計先行型設計施工一括で入札公告を行い、ました。入札手続きは順調に進んでいた

ところですが、社会情勢の影響もあり、10月に入札を中止することとなりました。入札中止後、再公告に向けて、要因の分析を行ったところ、結果は物価高騰や建設関係技術者不足の他、多々要因がありました。物価高騰に関しては、短期間での急激な物価高騰ということもあり、単価については、日頃から最新の単価を適切に反映するようしておりますが、昨年は刊行物単価と実勢単価の開きが大きく、設計担当者の方には積算業務に対し、大変苦勞していただきました。適正な価格を反映することの難しさを痛感したところです。

当市としましては、今後も設計者並びに積算技術者などの協力を得ながら、積算基準に基づき適正な予定価格を導き出すことに引続き取り組み、また、積算しやすく分かり易い仕様書作成を行い、適正な価格で入札していただけるよう、引続き業務を進めて参りたいと考えております。

最後になりますが、貴協会の益々の発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、発刊のご挨拶とさせていただきます。

地域委員会

滋賀県地域委員の後藤平です。

地域委員として、積算協会の活動を各地でご紹介させていただいております。協会へのお問い合わせやご相談がありましたらご遠慮なくお聞かせください。

滋賀県地域委員 後藤 平



第78回積友会ゴルフコンペのご報告

第78回幹事 西川 嘉一
塩月 逸男

恒例の積友会ゴルフコンペが、木々の緑が美しい2023年5月6日（土）に、吹き抜ける風がなんとも心地よい泉南の岸和田カントリー倶楽部で行われました。

4組13名のゴルファーは和気あいあいと競技を楽しんでおられました。

結果は、佐田元氏がパワーゴルフで、グロス88 ネット72の素晴らしい成績で優勝されました。

次回第79回積友会は、佐田元氏のホームコースのワールドカントリーゴルフクラブに於いて、幹事を佐田元氏、下農氏で、2023年10月に開催です。

多数のご参加下さいますようお願い申し上げます。

第78回積友会成績

優 勝	佐田元敏和 様
準 優 勝	梶原 利文 様
第 3 位	植野 知雄 様
B B 賞	下農 均 様
ベストG賞	佐田元敏和 様
ドラコン賞	梶原 利文 様
〃	藤田 貴司 様
ニヤピン賞	重松 大輔 様
〃	植野 知雄 様



左：優勝 佐田元 敏和氏 / 右：会長 植野 知雄氏



スタート前 参加者4組13人の皆さま

次回第79回大会は2023年10月開催予定です。会員・賛助会員皆様方のご参加をお待ちしています。

次回幹事 佐田元敏和氏 / 下農 均氏

2023年度 新任役員紹介

岡澤 健治

1963年東京生まれ／積水ハウス株式会社 技術管理本部 技術コスト管理部長



この度、関西支部役員を務めさせていただくことになりました積水ハウスの岡澤と申します。

私どもの会社は、設計の標準化、自社工場での部材生産、自社グループによる施工などを、全体システム化による住まいに係る建築を事業の核としております。これには積算についても同様で独自の構築と進化をまいりました。昨今では物件の大型化や非住宅、PREなど事業が拡大しており、あらためて建築積算に係る知識が重要となってきております。そのような状況のなかで、現在弊社では、積算・見積・コストに係る社員向けに「建築積算士」「建築コスト管理士」の取得を推奨しています。協会の方々のご協力をいただきながら、おかげさまで現在では日本一の建築積算士資格を取得している企業となることができました。

私自身は会員の皆様の見識の足元にも及びませんが、微力ながら会員の皆さまと共により良い支部運営に尽力する所存でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

河原 理

1966年大阪府生まれ／株式会社総合積算 大阪事務所所長



今年度より前任者からの引継ぎにより関西支部役員を務めさせて頂くことになりました河原理と申します。積算一筋で30数年やってきましたが、本年より所長と協会役員の2足の草鞋でやっていくことになり戸惑っている部分も有りますが、積算協会発展の為に協会役員の諸先輩方にアドバイスを頂きながら尽力していきたいと思えます。又、今問題になっている積算技術者の人材不足の解決に向けて、若い人たちに積算に足を踏み入れてもらえるよう、積算の魅力・やりがい等を発信していけたらと思えます。最後になりましたが、自分の出来る限りの事を頑張りたいと思えますので今後ともよろしくお願いいたします。

2023年度 新任役員紹介

菊川 一

1969年大阪府生まれ／株式会社昭和設計 コスト管理部 主管



このたび前任者を引継ぎ、関西支部役員を務めさせていただくことになりました。もとより浅学非才の身ではございますが関西支部発展のため全身全霊をもって努力してまいる覚悟でございます。何とぞ倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、2025年に関西支部は50周年という節目を迎えるわけですが、この節目に向けて大役を仰せつかり、責任の重さに身の引き締まる思いです。

私自身も積算事務所や設計事務所で積算に関わり続け、35年を迎えることとなります。気が付けばずいぶん前に若手と呼べる歳ではなくなっておりました。その間に多くの関係者の方と出会い、積算に対する考え方や取り組み方、手法など色々なことをご教授頂き、今の自分があるのだなぁと日々感じております。

若い方々に積算をもっと身近に感じて頂けるよう精一杯務めてまいります。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

小谷 靖弘

1976年広島県生まれ／高積算株式会社 副代表取締役



このたび、新しく関西支部役員を務めさせていただくことになりました。

私は現在、積算事務所において主に仕上積算に従事しています。

現在、日々変わりゆく様々な世界情勢により、建設業界もまた様々なものが求められる時代になっているように思います。この流れのなかでは、より多様な知識や経験が必要になることと考えています。

そのような状況のなかで、協会では積算事務所以外にも、幅広い分野の建設業界に勤めておられる方が多数いらっしゃいますので、その方々と交流させていただくことで、自分の経験値や知識、技術の向上のきっかけをいただけるように感じています。

また、ここで知り得た情報などの発信にも努めていきたいと思っています。

微力ではありますが、協会並びに会員の皆様のお力になれるよう頑張っておりますので、何卒宜しくお願い致します。

2023年度 新任役員紹介

寺浦 加津

1974年和歌山県生まれ／株式会社綜企画設計 積算事業部 積算事業部長



この度、新しく関西支部役員を務めさせていただくことになりました寺浦加津と申します。

私は設計事務所の積算事業部で自社の設計だけでなく、他の設計事務所やゼネコンの積算業務を12年程やってまいりました。官庁物件が多く、積算基準に則った積算を求められることも多く、また、社会情勢により価格変動の激しい建築コストを出す為、日々、勉強の毎日です。

また、BIMとの連携もどんどん進んでおり、数量積算が効率化されるとともに積算技術者も今までとは違った知識が必要になってくると思います。

そのような状況の中、建築、積算関係者の皆様と交流できる場に参加させて頂き、勉強させて頂ける事を大変ありがたく思います。

微力ではございますが、協会の発展、並びに会員の皆様のお役に立てるよう努めさせていただきますと思います。何卒、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い致します。

藤野 直久

1968年福岡県生まれ／株式会社フジタ 西日本建築技術営業部(積算) 部長



経歴:現場7年、積算25年(更新中)現在は、顧客・営業目線でコスト管理している。趣味はゴルフ場巡りと競馬。

2024年問題、技術者不足によるデジタル共存の迅速化が課題となっている今、各社が対策に頭を捻っていることと思います。しかし、建物に携わる上で大切な事は、今日でも変わっていないのではないのでしょうか。建物づくりで大切な事は図面をみていかにイメージをふくらますことができるかです。皆さんは様々な建物の積算を経験され、その失敗や成功を反復して技術を身につけてきたと思います。AIも反復学習が出来ますが、学習させる判断は私たち人間です。改めて、真の技術力(積算力)が必要となります。協会活動を通して、様々な立場からの意見を組合せて、これからの技術力を皆さんと一緒に発展させたいです。宜しくお願い致します。

2023年度 役員名簿および委員会組織

役員

理事・支部長	渡邊 浩文	(株)安井建築設計事務所			
副支部長	斉藤 裕亮	(株)エステム建築事務所	役員	田口 悦朗	(株)二葉積算 大阪支社
同	重松 大輔	(株)大建設	同	寺浦 加津	(株)綜企画設計
同	杉山 理絵	(株)竹中工務店 大阪本店	同	土井 健嗣	(株)DOISEKI
同	徳原 永安	(有)積建築工務	同	道家 武史	(株)内藤建築事務所
同	土坂 一平	(株)東畑建築事務所	同	中野 充哲	(株)大林組 大阪本店
同	東 泰紀	(株)東建築積算士事務所	同	中本 明	(株)伸構造事務所
同	三谷 智	(株)アイ積算	同	藤野 直久	(株)フジタ
和歌山支所長	藤田 貴司	(株)フジ設計	同	淵上 卓広	戸田建設(株) 大阪支店
			同	宮野 潔	(株)スクエア積算ラボ
役員	碓 雅樹	(株)日建設	同	森田 英揮	清水建設(株) 関西支店
同	井関 健	大成建設(株) 関西支店	同	山口 具紀	(株)竹中工務店 大阪本店
同	鵜尾 敦	(株)鴻池組 大阪本店	同	山田 正人	(株)エーアンドディー設計企画
同	岡澤 健治	積水ハウス(株)			
同	河原 理	(株)綜合積算			
同	菊川 一	(株)昭和設計			
同	小池 祐也	(株)日積サーベイ			
同	児玉 久幸	鹿島建設(株) 関西支店	監事	大坪 義和	村本建設(株)
同	後藤 平	後藤平建築事務所	同	北野 正美	花谷建設(株)
同	小谷 靖弘	高積算(株)	顧問	阿波野昌幸	近畿大学
同	千田 義博	大和ハウス工業(株)	同	宮川 明夫	(株)綜合積算

委員会組織

委員会名	副支部長	委員長	副委員長	担当役員
総務財務委員会	斉藤 裕亮	斉藤 裕亮		
会員委員会	重松 大輔	重松 大輔	児玉 久幸	井関 健、菊川 一、杉山 理絵、道家 武史 中野 充哲、藤野 直久、淵上 卓広、山口 具紀
広報委員会	三谷 智	三谷 智	鵜尾 敦	碓 雅樹、小谷 靖弘、斉藤 裕亮、寺浦 加津 東 泰紀、藤野 直久、宮野 潔
事業講習委員会	東 泰紀	東 泰紀	小池 祐也	碓 雅樹、鵜尾 敦、岡澤 健治、小谷 靖弘 児玉 久幸、千田 義博、中野 充哲、三谷 智 森田 英揮、山口 具紀
教育委員会	土坂 一平	土坂 一平	田口 悦朗	河原 理、小池 祐也、土井 健嗣、宮野 潔
認定事業委員会	徳原 永安	徳原 永安	土井 健嗣	岡澤 健治、河原 理、千田 義博、田口 悦朗 淵上 卓広、森田 英揮
評価評定委員会	藤田 貴司	藤田 貴司		菊川 一、中本 明
地域委員会	藤田 貴司	藤田 貴司	道家 武史	後藤 平、中本 明、山田 正人
ペリカン推進委員会	土坂 一平			三役で随時対応
積女アッサルかんさい	杉山 理絵	杉山 理絵	井関 健	寺浦 加津
50周年事業委員会	重松 大輔	重松 大輔	斉藤 裕亮	徳原 永安、土坂 一平、東 泰紀、三谷 智 外部委員 岩尾 雄大、大中恵理子、小柳 剛 新 紗季

賛助会員名簿

(2023年6月現在)

会社名	住所	電話番号
太陽工業株式会社	大阪市淀川区木川東4-8-4	06-6306-3080
TOMO データサービス株式会社	大阪市北区浪花町14-25 KRD天六ビル 4F	06-4256-8481
小松ウオール工業株式会社 和歌山支店	和歌山市岩橋字宮ノ段997番1	073-473-7811
株式会社後工務店	西牟婁郡上富田町生馬567-1	0739-47-0257
協栄産業株式会社	大阪市福島区福島3-14-24 福島阪神ビルディング 11階	06-6451-9781
サンスチール株式会社	大阪市北区天満3-12-17	06-6881-5552
株式会社ニュージェック	大阪市北区本庄東2-3-20	06-6374-4042
株式会社バル・システム	大阪市中央区北浜2-3-10 大阪松田ビル 7F	06-6786-8945
東洋シャッター株式会社 大阪ビル建支店	大阪市淀川区田川北3-2-4	06-6300-3081
株式会社カルテック	大阪市中央区北浜1-5-5	06-6222-3200
淀鋼商事株式会社	大阪市中央区南本町4-1-1 ヨドコウビル 5F	06-6241-7231
株式会社太陽建設	東大阪市若江西新町1丁目4-31	06-6724-2701
三和タジマ株式会社 大阪支店	大阪市中央区北久宝寺町3丁目5-12 御堂筋本町アーバンビル 5階	06-6657-6116
株式会社熊谷組 関西支店	大阪市西区鞠本町1-11-7	06-6225-2438
文化シャッター株式会社	大阪市中央区南船場2-11-26 大阪BXビル 5階	06-6244-1546
フジモリ産業株式会社	大阪市中央区道修町4-4-10 KDX小林道修町ビル 4F	06-6228-3861
株式会社日積サーベイ	大阪市中央区大手前1-4-12 大阪天満橋ビル 8F	06-6944-2755
株式会社縁 大阪事務所	大阪市中央区安土町3-4-5	06-6264-8210
株式会社ベルテック	大阪市西成区千本中2丁目12-20	06-6651-9200
株式会社三木組	大阪市淀川区十三元今里1-2-2	06-6308-3961
ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社	大阪市淀川区西中島5-4-20 中央ビル 9F	06-6303-1064
日本国土開発株式会社 西日本建築事業部	大阪市淀川区西中島5-5-15	06-6306-6595
株式会社ノバック 大阪支店	大阪市北区梅田1-1-3-3100号 大阪駅前第三ビル 31階	06-4798-8053
ヒデイ建設株式会社	岸和田市土生町7丁目13-8	072-426-5519
大末建設株式会社 大阪本店	大阪市中央区久太郎町2-5-28 久太郎町恒和ビル 5階	06-6121-7320

株式会社 アイ積算

代表取締役 三谷 崇

〒541-0048 大阪市中央区瓦町2-1-13
がんすいビル
TEL 06(6201)5301(代)
FAX 06(6201)5305

株式会社 青山建築積算事務所



代表取締役 青山幸夫

〒550-0004 大阪市西区靱本町1丁目6番10号
(本町西井ビル)
TEL 06(6443)0430
FAX 06(6444)2815

株式会社 エーアンドディー設計企画

代表取締役

山田 正人

神戸市中央区下山手通4-6-13(〒650-0011)
エクセル山手6階
TEL 078-391-7038(代)
FAX 078-391-7068
E-mail: ad.office@ad-sk.co.jp

有限会社 エース積算

代表取締役 水野 勝己

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-4-8
本町KAZビル
TEL (06)6459-4851
FAX (06)6459-4852

建築コスト管理・積算・BIM(モデリング/積算データ移行)・人材紹介(技術者)



一級建築士事務所

株式会社 エステム建築事務所

代表取締役 斉藤 裕亮

東京 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-1オムビル6F Tel(03)5244-5961
浜松 〒430-0928 静岡県浜松市中区板屋町110-5 12F Tel(053)450-5106
名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦1-20-25 4F Tel(052)212-9280
本社 〒541-0047 大阪市中央区淡路町1-6-9 9F Tel(06)6220-1901

(厚生労働大臣許可: 27-ユ-302259)



大阪府建築家協同組合

理事長 中村 武嗣

安全と安心の街づくりを目指し、建築家同士の共同購買事業や調査、研究及び教育情報事業、福利厚生事業を行っています。

〒540-0011 大阪市中央区農人橋2-1-10大阪建築会館3階
電話06(6942)0887 FAX06(6942)5660

<http://oac1962.jp/>

公益社団法人 大阪府建築士会

会長 岡本 森廣

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17
(高田屋大手前ビル)
TEL (06)6947-1961
FAX (06)6943-7103



株式会社 大北積算

代表取締役 浦 晴美

一般社団法人 日本建築積算事務所協会会員

〒542-0082 大阪府大阪市中央区島之内1-19-3 クレディ長堀橋ビル
TEL (06)6251-5921・FAX (06)6251-5868
URL <https://www.ookita-sekisan.co.jp>

100年をつくる会社

カ 鹿 島

本社: 東京都港区元赤坂1-3-1 〒107-8388

<https://www.kajima.co.jp/>

株式会社 寿建築積算事務所

代表取締役 植野 知雄

〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-16-29
(つるのすビル)

TEL 06(6244)1561
FAX 06(6245)8635



後藤平建築事務所

〒520-3043 滋賀県栗東市林73番地
phone.077-552-3940 fax.077-552-4300
taira@gototaira.com



代表取締役

宮崎 敬文

Miyazaki Takafumi

ジャスト建築積算株式会社

〒540-0012 大阪市中央区谷町3丁目2番11号 FLAGS 7F
Tel : 06-6940-0527 Fax : 06-6940-0672
Mobile : 080-3690-2758
E-mail : miyazaki@just-as.jp

シュアー積算設計株式会社

代表取締役 下 農 均

〒550-0015 大阪市西区南堀江1-18-27
四ツ橋セントラルハイツ308
TEL (06) 6534-0300
FAX (06) 6534-0308



SHOWA SEKKEI

株式会社 昭和設計

代表取締役社長 梶山卓二

〒531-0072 大阪市北区豊崎4-12-10 昭和設計大阪ビル
URL <http://www.showa-sekkei.co.jp>
電話06(7174)8787 FAX06(7174)8788

建築・土木・インテリア・空間デザイン・ガーデンデザイン ものづくりをめざす学生たちへ

ガガガ
ツツツ
ンンン
ととと
動動動
けけけ



学校法人 修成学園

修成建設専門学校

一級建築士受験資格認定校

☎0120-446-456 <http://www.syusei.ac.jp/>
〒555-0032 大阪市西淀川区大和田5-19-30
TEL:06-6474-1644(代)

コストプランニングのベストパートナー



株式会社スクエア積算ラボ

代表取締役 宮野 潔

【本 社】

〒532-0011 大阪市淀川区西中島5丁目7-17 ビジネスVIP第2新大阪602
TEL 06-6195-8375 FAX 06-6195-8376

【UTUBO OFFICE】

〒550-0004 大阪市西区鞠本町1丁目13-16 川越ビル6F
TEL 06-6486-9596 FAX 06-6486-9597

代表取締役 田中 優



有限会社 積 建築工務

〒530-0022 大阪市北区浪花町12番24号 赤坂天六ビル
TEL:06-6147-8146 FAX:06-6147-8147

株式会社 総合積算

<http://www.sogo-sekisan.co.jp>

代表取締役 会長 宮川 明夫

代表取締役 社長 宮川 剛



本社/大阪 〒530-0044 大阪市北区東天満1丁目11番19号デュプロビル
TEL 06-6351-3466(代) FAX 06-6351-3870

東京事務所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-7京王東日本橋ビル
TEL 03-5687-7888(代) FAX 03-5687-7118



株式会社 大建設計

代表取締役社長 菅野 尚 教
取締役執行役員 田嶋 慎 也
大阪事務所長

<http://www.daiken-sekkei.co.jp>

〒550-0003 大阪府大阪市西区京町堀 1-13-20 大建設計大阪ビル
TEL 06-6449-6800 東京・大阪・名古屋・九州・札幌・東北・広島・北九州・沖縄
FAX 06-6449-6829 静岡・横浜・京都・松山・徳島・国際・プラント・医療

高積算株式会社

代表取締役 佐田元敏和

副代表取締役 小谷 靖弘

一般社団法人 日本建築積算事務所協会会員

〒530-0041 大阪府大阪市北区天神橋1-6-6 AXIS201

TEL 06-6356-0162 FAX 06-6356-0262

<http://www.taka-qs.co.jp>

想いをかたちに 未来へつなぐ



TAKENAKA

竹中工務店

〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13 tel: 06-6252-1201
 〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1 tel: 03-6810-5000

再生可能な100%紙製リング



中和の eco ペーパーリング

綴じ具も紙でできているため分別する必要がなく、紙類の資源としてリサイクルできます。

ネットショップ営業中! <https://chuwa.shop-pro.jp/>

CHUSSA 中和印刷紙器株式会社

〒640-8225 和歌山市久保丁4丁目53 TEL.(073)431-4411 FAX.(073)431-8188



DOISEKI

株式会社 DOISEKI
 ☎ 541-0046
 大阪市中央区平野町3-1-8 プロスパー平野町ビル605
 ☎ 06-4256-2393 ☎ 06-4256-2394
 ☎ 090-1894-7110 ✉ doi@doiseki.com

土井 健嗣
 代表取締役
 Kenji Doi

東畑建築事務所
 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.


代表取締役社長 President, Representative Director
米井 寛 Yutaka Yonei



株式会社 内藤建築事務所
 ARCHITECTS

代表取締役社長 川本雄三

本社 京都市左京区田中大堰町 182 番地 TEL:075-781-4111(代) FAX:075-701-2423
 東京 名古屋 滋賀 大阪 広島 九州
<http://www.naito-archi.co.jp>




株式会社 中野積算 大阪支社

大阪支社長 河上剛士

〒541-0047 大阪市中央区淡路町1-6-9 堺筋サテライトビル 5F
 TEL 06(7711)5605
 FAX 06(7711)5607

本社 〒167-0051 東京都杉並区荻窪5-13-7
 支社 名古屋・仙台・札幌事務所・新潟事務所 ☎ 03(3392)6121



日刊建設通信新聞社


建設産業の総合メディアNo.1

本社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-13-7
 TEL (03) 3259-8711
 関西支社 〒540-0026 大阪市中央区内本町1-3-5
 TEL (06) 6944-9191(代)

NIKKEN
 EXPERIENCE, INTEGRATED

日建設計

代表取締役社長 大松 敦



コストコンサルタント 建築積算・概算 建築積算システム開発

株式会社 日積サーベイ

代表取締役(会長) 生島宣幸
 代表取締役(代表) 清水達広

〒540-0008
 本社/大阪市中央区大手前1丁目4番12号 大阪天満橋ビル 8F
 TEL 06-6944-2755 FAX 06-6944-2390
 〒104-0033
 東京オフィス/東京都中央区新川1丁目22番4号 新川ニッテイアネックス
 TEL 03-6822-9244 FAX 03-3206-7112
 URL <http://www.nisseki-survey.co.jp>

構造設計・耐震診断・大規模木造建築物設計
 免震構造設計・PC構造設計/監理

NOBI

株式会社 伸構造事務所

取締役会長 中本 明
 代表取締役社長 中本 篤

本社 〒639-0225 奈良県香芝市瓦口2166番地
 TEL: 0745-71-2200 FAX: 0745-71-2311
 HP: <http://www.nobiso.jp> MAIL: info@nobiso.jp

暑中お見舞い申し上げます 2023年

(順不同)

Higashi 株式会社東建築積算士事務所
一級建築士事務所

代表取締役 東 泰紀

〒530-0043 大阪市北区天満2丁目1番10号 DoDoビル
TEL (06) 6358-8872 FAX (06) 6358-8049
<https://www.higashi-sekisan.com>



コストエンジニアリング&コンサルタント

株式会社 二葉積算

大阪支社 支社長 堤 忠正

〒550-0005 大阪市西区西本町1丁目15番6号(西本町ビル)
TEL 06(6531)3088代 FAX 06(6531)3018
URL <http://www.futaba-sekisan.co.jp>
本社/東京 支社/東京・名古屋・広島・福岡・札幌

株式会社 Ben建築積算室

代表取締役 西村克也

〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-6-23
MF桜橋ビル3F
tel 06-6344-8616 fax 06-6344-8617

つくって終わりじゃない、
未来につながる「ものづくり」を目指しています。



心と技術で明日を築く

村本建設株式会社

本社/〒543-0002 大阪市天王寺区上汐4-5-26 TEL:06-6772-8201
URL:<http://www.muramoto.co.jp/>

人やまちを元気にする

安井建築設計事務所

代表取締役社長 佐野吉彦

おかげさまで2024年4月1日に創業100周年を迎えます。

Tsugu

建築積算・情報処理コンサルタント

株式会社 ツグ積算エンジニアリング

代表取締役 矢作 勉

〒540-0023 大阪府中央区北新町4番1号(太田ビル)
TEL (06) 6949-1560 FAX (06) 6949-1670

暑中お見舞い申し上げます 2023年

(順不同)

FUJI PLANNING CORPORATION

代表取締役 藤田 貴司 一級建築士



株式会社 **フジ設計**

和歌山県和歌山市北ノ新地東ノ丁1番地
TEL 073-499-6727 FAX 073-499-6728

有限会社 元 積 算

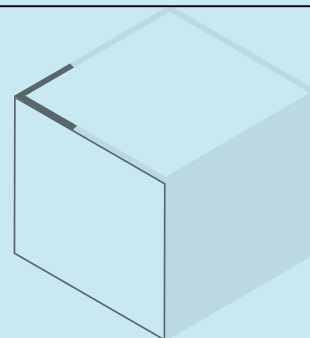
代表取締役 木 村 幸 信

〒530-0046 大阪市北区菅原町5番3号 大宝中之島ビル7F
TEL : 06-6316-5527 FAX : 06-6316-5541
E-mail : gensekisan@par.odn.ne.jp

代表取締役

今 田 晴 久

HARUHISA IMADA



株式会社 **CORE・CUBE**

〒553-0001

大阪市福島区海老江5丁目2-2 大拓ビル5

TEL. 06-6225-7530 FAX. 06-6225-7531

mobile. 090-7963-5436

e-mail. h-imada@corecube.co.jp

<https://www.corecube.co.jp/>

令和5年度版

工事歩掛要覧〈建築・設備編〉

令和5年
9月発行



経済調査会積算研究会 編
B5判 約800頁
定価8,470円
(本体7,700円+税)

品確法では「予定価格を適正に定めること」を規定しており、公共建築工事において積算基準類の適用による工事費積算の実施が必須です。

本書は、公共建築工事標準仕様書・積算基準・標準単価積算基準・共通費積算基準・数量積算基準等の最新版に準拠しています。

- 令和5年度の積算基準類等に準拠
- 公共建築工事積算研究会参考歩掛りと、経済調査会積算研究会検討歩掛りも併せて掲載
- 付録に、(令和5年3月からの) 公共工事設計労務単価、他

主要目次

総論

建築工事編

建築工事の積算について

1. 仮設
2. 土工
3. 地業
4. 鉄筋
5. コンクリート
6. 型枠
7. 鉄骨
8. 既製コンクリート

9. 防水

10. 石
11. タイル
12. 木工
13. 屋根およびとい
14. 金属
15. 左官
16. 建具
17. 塗装
18. 内外装
19. 仕上ユニットほか

20. 排水

21. 構内舗装
22. 植栽
23. とりこわし
24. 建築改修

電気設備工事編

電気設備工事の積算について

1. 共通工事
2. 電力設備工事
3. 通信・情報設備工事
4. 改修工事

機械設備工事編

機械設備工事の積算について

1. 共通工事
2. 空気調和設備工事
3. 自動制御設備工事
4. 給排水衛生設備工事
5. 改修工事

付録

1. 公共工事設計労務単価について他

内容見本

共通仮設費の算出

表・23 共通仮設費率 (新営建築工事)

直接工事費	1,000万円以下	1,000万円を超える
上限	4.33%	5.78× $P^{0.0313}$
共通仮設費率	共通仮設費率算定式により算出された率	
下限	3.25%	4.34× $P^{0.0313}$

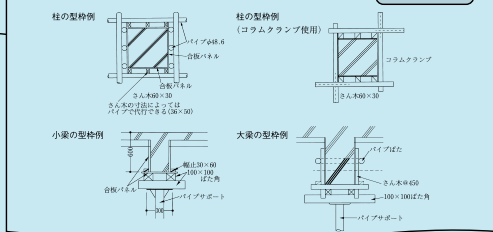
算定式 $K\gamma = 7.56 \times P^{0.1105} \times T^{0.1289}$

ただし、 $K\gamma$: 共通仮設費率 (%)

P : 直接工事費 (千円) とし、1,000万円以下の場合、1,000万円として扱う

T : 工期 (か月)

型枠



変圧器

● 高圧進相コンデンサ

表・電-2-4-3 高圧進相コンデンサ

名称	規格	台	材料	電工		その他	納入費	備考
				人	日			
高圧進相コンデンサ	三相 10/12kvar	1		0.248	0.248			
	→ 15/18 →	1		0.301	0.301			
	→ 20/24 →	1		0.442	0.442			
	→ 25/30 →	1		0.558	0.558			
	→ 30/36 →	1		0.575	0.575			
	→ 50 →	1	一式	0.655	0.655			
	→ 75 →	1	一式	1.13	1.13			
	→ 100 →	1	一式	1.26	1.26			

SGP-PB

表・機-11-2 水適用ポリエチレン樹脂ライニング鋼管 (SGP-PB)

(給水・冷却水) おじ継合 (管端防食継手) (1m当たり)

種目	径	材料			配管工	はつり継手	その他
		管	継手	緩合材等			
屋内一般配管	15	1.10			0.089		
	20	1.10			0.100		
	25	1.10			0.123		
	32	1.10			0.151		
	40	1.10	(管単価×0.65)	(管単価×0.05)	0.166		
	50	1.10			0.208		
機械室・設備配管	65	1.10			0.271		
	80	1.10			0.307		
	100	1.05			0.401		
	15	1.10			0.107		
機械室・設備配管	20	1.10			0.120		
	25	1.10			0.148		
	32	1.10			0.181		

本書を
テキストとした

建築工事積算セミナーを開催いたします!

開催日 2023年12月8日(金)
10:00~17:00

会場 新梅田研修センター
大阪市福島区福島6-22-20 TEL 06-4796-3371

● お申し込み・お問い合わせは ●

一般財団法人 経済調査会 関西支部

〒541-0042 大阪市中央区今橋4-4-7 京阪神淀屋橋ビル8階
TEL 06(6233)2020 FAX 06(6233)2011



講習会 Plaza 検索
Bookけんせつ Plaza 検索

— 事務局だより —

暑中お見舞い申し上げます。

関西支部会員並びに賛助会員の皆様には、日ごろより支部の活動にご理解とご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。厚く御礼を申し上げます。

今年4月26日の支部総会におきまして、新役員6名が選任されました。ご紹介は本誌23から25ページに掲載致しておりますので、ご覧ください。

私事ですが、今回は戦争の話です。

もちろん僕は戦争体験者ではありません。

でも、小さいころ親父が寝る前に布団の中で戦争の体験話をいっぱい話してくれました。親父は大正10年生まれ、20歳で兵隊検査を受けてそのまま戦争に行きました。行先は中支、揚子江のところ、今みんなが知る武漢あたりです。終戦まで戦い終戦8月15日の後、日本に帰ってきたのは翌年の2月28日です。だから我が家では2月28日はお祝いの日です。親父の第2の人生の始まりです。

親父に教えてもらった事はいっぱいあるのですが、今でも身につけているのが目覚まし時計を使わずに起きることができることです。教訓として、朝起きられないのは、「起きる気がない」のだと教わりました。戦争中眠り込んで起きないと敵さんに殺されるとなると絶対起きるとのこと、命を懸けた判断力、今の僕には体験することができません、でも何回も聞いていると、何時に起きる、と眠って寝ると起きることができるようになりました。起きる気がないだけという言葉が体験できるようになりました。

親父は51歳で亡くなりました。僕が18歳の時です。もう一つ印象に残っていることが「よっしゃ」と言ったら首がちぎれてもやりなさいということです。首がちぎれたらできないよ、と思うのですが、仲間みんなから依頼があってOKをしたなら絶対やり通しなさいとのこと。もしそれができなかったなら仲間全員が死んでしまう事になることもあるとのこと。戦争でみんなで戦うことは全て連帯責任であるということです。

今の社会こんな風に考えることは少なくなったと思います。自分だけで考えて行動するのはなく仲間全体の中の一人だと考えて行動する。今のように個人主義ではなく、戦前の日本にはこんなすばらしい考え方があったのです。良い意味で取り返したいです。もうすぐ8月15日です。

(事務局/塩谷正憲)

— 編集後記 —

暑中お見舞い申し上げます。平素より日本建築積算協会関西支部の活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

本年度は関西支部役員の改選の年度となり、それに伴い当会誌の編集を行っている広報委員会のメンバーも委員長を含め9名中5名が新任となり、未経験者も多い中、試行錯誤の中での編集作業となりました。支部会誌HILAU No.88 (2023.08)はいかがでしたでしょうか。

次号からも新しい企画、皆様方のご意見を生かした会誌としていきたいと思っております。

こうして欲しいとか、このような情報が欲しいなどご意見、ご感想があれば是非、関西支部の方にメール、FAX等でお寄せ頂けたらと思います。

又、本号を発刊するにあたりご協力いただいた全ての皆様に感謝いたします。

今後とも会員の皆様方に喜ばれる会誌としてまいりますので宜しくお願いします。

HILAU No.88

編集：広報委員会(地域委員会)

三谷・鶴尾・碓・小谷・斉藤・

寺浦・東・藤野・宮野

(藤田・中本・山田・後藤・道家)

発行所：公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部

〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-3-10

TEL 06-6253-1523 FAX 06-6253-1524

印刷：中和印刷紙器株式会社

— 事務局一覧表 —

(本部)	〒105-0014 東京都港区芝3-16-12	サンライズ三田ビル3階	TEL.03-3453-9591 FAX.03-3453-9597
(北海道支部)	〒060-0062 札幌市中央区南2条西6-14	大友ビル8階	TEL.011-206-9383 FAX.011-206-9385
(東北支部)	〒980-0021 仙台市青葉区中央2丁目2-10	仙都会館ビル7階	TEL.022-225-6517 FAX.022-225-8833
(関東支部)	〒105-0014 東京都港区芝3-16-12	サンライズ三田ビル3階	TEL.03-3453-9594 FAX.03-3452-4811
(東海北陸支部)	〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26	昭和ビル2階	TEL.052-264-0661 FAX.052-264-0662
(関西支部)	〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-3-10	長堀堂ビル8階	TEL.06-6253-1523 FAX.06-6253-1524
(和歌山支所)	〒640-8354 和歌山市北ノ新地東ノ丁1番地		TEL.073-499-6727 FAX.073-499-6728
(中国四国支部)	〒730-0016 広島市中区鞆町5番8号	青柳屋ビル201	TEL.082-221-9759 FAX.082-221-9794
(九州支部)	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-9-5	池松ビル5階	TEL.092-451-0859 FAX.092-475-1448

令和5年版

公共建築工事積算基準

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部

◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 ◎図書コード3499 ◎B5判

定価9,900円(税込)

国の統一基準である「公共建築工事積算基準」等の最新内容を掲載。
公共建築工事の積算業務に携わる方々必携の書!参考歩掛り並びに関係通達も収録。

令和5年版

建築数量積算基準・同解説

◎編集/(一財)建築コスト管理システム研究所・(公社)日本建築積算協会

◎発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 ◎図書コード3497 ◎A4判

定価5,280円(税込)

新たに「木造建築」の数量積算規定を加え、参考資料の「鉄筋参考表」と
「鉄骨参考表(溶接延長換算表)」を刷新した最新版。

令和5年版

建築工事内訳書標準書式・同解説

◎編集/(一財)建築コスト管理システム研究所・(公社)日本建築積算協会

◎発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 ◎図書コード3498 ◎A4判

定価5,610円(税込)

新たに追加された「木造建築」の内訳書式を含め、内訳書標準書式の構成、内容及び記載例を掲載し詳細に解説。

令和5年基準

公共建築工事積算基準の解説 **建築工事編**

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部

◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 ◎11月刊行予定

定価未定

「公共建築工事標準単価積算基準(建築工事)」、「公共建築工事共通費積算基準」等の
最新の情報を基に運用に役立つ基本的な考え方と単価作成例を詳細に解説。

令和5年基準

公共建築工事積算基準の解説 **設備工事編**

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部

◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 ◎11月刊行予定

定価未定

「公共建築工事標準単価積算基準(電気設備工事)(機械設備工事)」、「公共建築工事共通費積算基準」等の
最新の情報を基に運用に役立つ基本的な考え方と単価作成例を詳細に解説。

 株式会社 大成出版社

<https://www.taisei-shuppan.co.jp/>

TEL:03-3321-4131 FAX:03-3325-1888

〒156-0042 東京都世田谷区羽根木1-7-11

KYOEI 建設DX

Kyoei Construction Digital Transformation

協栄産業が進める「建設DX」

「競争戦略」からユーザー、パートナーとの「協創戦略」へ舵を切ります。

BIM、リモート、クラウド をキーワードに、

業務効率化、省人化推進、ノウハウの継承を支援する「ビジネスモデル」を追求します。

■ 建築積算システム

BIM対応

テレワーク対応

RC数量積算

FKS RC Second stage

業界初の3Dモード編集機能、
複雑な建物形状にも柔軟に対応

仕上数量積算

FKS FN Second stage

部屋形状作図と図面データ取込
機能で積算時間を大幅削減

■ 見積書作成システム

テレワーク対応

建築見積作成

KYOEI COMPASS Second stage

自動値入や見積依頼など値入作業の効率化を実現

COST-BIM プロジェクト

BIMモデルで積算するワークフローをご提案します

建築積算システム「FKS」の配置機能を使い **BIMモデル作成の労力を大幅削減**

既存建物のBIMモデル構築にも威力を発揮し、維持管理BIM推進に貢献

BIMの入口は FKS から

FUJIKI
ARCHITECT OFFICE



KYOEI



定額制

～建築積算システムも購入する時代から、利用する時代へ～

積算見積システム サブスクリプションサービス開始

定額制の
優れた
ポイント！

初期費用
が安い！

最新版を
使い放題！

クラウド
対応！

KYOEI 協栄産業株式会社

東京

TEL 03-4241-8841

〒140-0002 東京都品川区東品川4-12-6 品川サイトビル18F

大阪

TEL 06-6343-9663

〒553-0003 大阪市福島区福島3-14-24 福島阪神ビル11F

E-mail fks@kyoei.co.jp URL <https://www.kyoei.co.jp/fks/>

